

# 「いじめについて考える日」「いじめ防止強化週間」振り返り

岐阜市立長良西小学校 いじめ対策監

## 1 「いじめについて考える日」のねらいと活動内容

ねらい	長良西小学校で誰もが幸せな生活を送るために、いじめが起きないように、自分（達）にできることを考えたり、話し合ったりすることを通して、「私のいじめ0宣言」を宣言して、具体的な行動目標をもつことができる。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・校長先生によるいじめについての講話</li><li>・西っ子サポーター（有志組織）による全校に向けた啓発放送・活動提案 →①全校よいこと見つけ、②わたしたちのあったかい言葉、③私のいじめ0宣言</li><li>・各学級における、いじめが起きないための話し合い活動 →わたしたちのあったかい言葉を決めよう</li><li>・子ども達一人一人の「私のいじめ0宣言」の作成</li></ul>

## 2 「いじめ防止強化週間」振り返り（全校一人ひとりを大切にしたいあいさつ活動の充実）

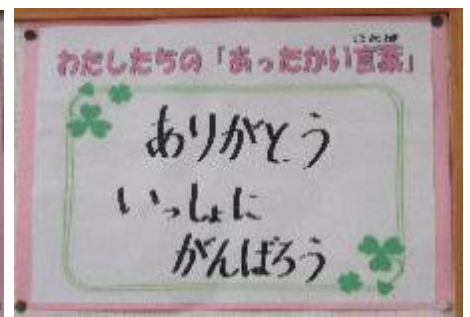
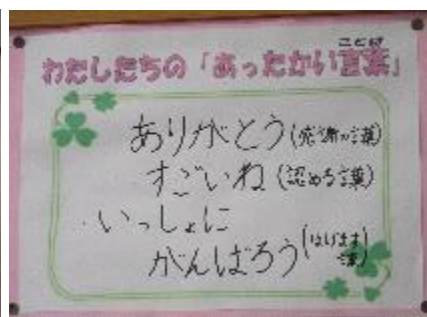
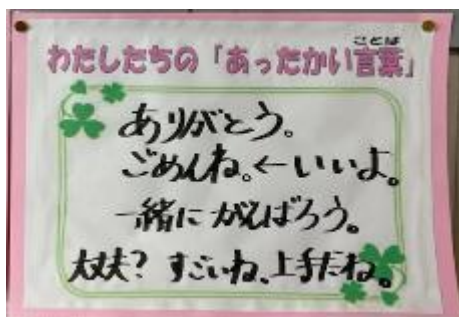
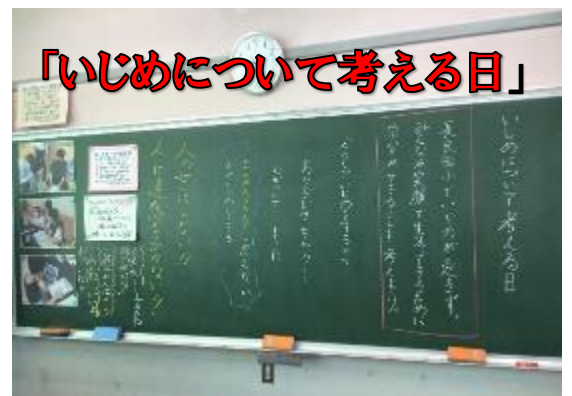
西っ子サポーター（有志組織）会議で、いじめをなくす、未然に防止するためにできることはないか考えた。そこで、たくさんの活動提案があった。例えば、いじめを防ぐポスター製作と掲示、また、いじめに関わるプレゼンでの全校への放送、さらには、心があたたかくなるような取り組みを行う等、たくさんの意見が出た。そこでまず、全校一人ひとりを大切にしたい取り組みを行いたいという意見がまとまり、「あいさつ+ONE」の活動を行った。朝、校門に立ち、全校の仲間に対して、「〇〇さんおはよう、今日もがんばろう」等、「おはよう」だけでなく、一言を添えてあいさつをすることで、一人ひとりを大切にしたい活動を行った。西っ子サポーターは、校門で意欲的にあいさつ活動を行った。西っ子サポーターだけでなく、他学年の児童も参加してあいさつを一緒に行う等、よい姿が広まった。



## 3 「いじめについて考える日」振り返り（誰もが幸せな生活を送るための取組について）

### （1）いじめ0へ「あったかい言葉」をクラスで決める

各担任、養護教諭、生指、教務、管理職は、子供の小さなサインを見逃さないように日々努力している。しかし、それでも見過ごしている可能性があるのではないかとというスタンスに立ったり、子供たち自身が主体的にいじめと向き合っている場を位置づけたいという思いで、心を耕す活動である、あったかい言葉を話し合う活動をクラスごとに行った。「いじめはなぜいけないのか？」を考えたり、いじめを未然に防ぐために、仲間の心をあたたかくしたりする言葉が大切ではないかという視点で、クラスで大切にしたい「あったかい言葉」を決めた。児童は、ちくちく言葉とあったかい言葉を比較して考えたり、自分が言われたら嬉しくなるという考えを持ったりしながら、あったかい言葉について意見を出し合って考えた。クラスによっては、3つの言葉を決めたクラスもあったが、「ありがとう」、「一緒にがんばろう」等、心が温まる言葉を大切にしたいという思いをもって話し合いを進めた。



## (2) 共感的な人間関係の醸成へ「よいところみつけ」の実施

「ひとり」を大切に、「ひとり」が大切にされる学級集団づくりを進めるために、「よいところみつけ」を位置付け、仲間のよさや頑張りに目を向け、そこに気付く心や、自分のよさに気付いて、価値ある行為・行動を続けていこうとする心を育てていくことができるような提案を行った。クラスの中でのよいところみつけは定期的に行っているが、さらに、自分のクラス以外の仲間にも目を向けることで、全校誰もが、よさを認め合える雰囲気づくりを目指して今後も取り組んでいくことを提案した。今後も継続的に行って、西っ子サポーターから全校に向けて紹介していく。

## (3) 「私のいじめ0宣言」を生活に生かす

クラスであったかい言葉を決め出した後、自分自身と向き合う時間「私のいじめ0宣言」を位置付けた。子どもたちは、クラスで話し合ったことを想起しながら、自分がいじめ0に向かうために大切にしたいことを真剣に考えていた。4年生の児童は、西っ子思いやり宣言をもとにして、「困っている子がいたら助ける」ことを意識して生活したいと宣言を書いていた。その他に、自分の生活場面で、嬉しかった言葉を思い出し、その言葉を掛けられるようにしたいと宣言していた。

全校児童が一人ひとり書いた、「私のいじめ0宣言」は、各クラスにまとめて、掲示し、いつでも立ち返っていくことができるようにした。今後もこの宣言を大切に行動を見取り、価値付けていきたい。



## 4 今後に向けて

今回行った、【あったかい言葉】、【私のいじめ0宣言】、【よいところみつけ】を、活用しながら、子どもの心を耕す、子どもたちに考えさせる、自分や仲間のよさに目を向けることができるように継続的に指導支援を行っていく。一人一人に目を向け、どの子ども幸せで楽しい学校生活を送ることができるよう、学年の連携、学校全体での連携を強化していく。

また、いじめや悩みを早期に発見し、効果的な指導を進めるために家庭との連携を一層密にしていくことと、関係機関（外部機関）との連携を図ることで子どもの居場所を作ることも大切にしていきたい。

<b>わたしのいじめ0宣言</b>	名前
長良西小学校でいじめが起きないようにするために・・・	
西っ子思いやりせんげんの「困っている子がいたら助けます」を守ります。わけは、仲間へ「大丈夫」など声かけをすると、はげましにもなり、手助けにもなり、仲間が助かるからです。	

<b>わたしのいじめ0宣言</b>	名前
長良西小学校でいじめが起きないようにするために・・・	
私は給食当番のときに、班長の仲間に係の仕事をやってあげるといわれてうれしか。だから手伝うよという言葉を使うことをがんばります。 あと、なにが手伝ってもらったか、ありがとうということもがんばります。	